

令和6年4月1日

株式会社 ダイセン

運輸安全管理

PDCAサイクル計画

P l a n 無事故目標の設定

人身事故 0 件 物件事故 0 件 単独事故 0 件 飲酒運転 0 は絶対条件

D O 目標達成のための施策

1・安全体質の確立

- (1) 安全体質の確立 安全の確保は自動車運送事業における最大の課題であり、事故防止のため日々の自主的な努力の積み重ねが最も重要だと考えるが、安全に対する意識が不十分な者も見られ、安全に対する取り組みが必要である。再発防止・未然防止を念頭においた 講習（安全対策会議）を最低でも月に 1 回は行う。

内容

- * 講習・安全対策会議でのドライブレコーダーを活用した教育
- * 事故を起こしたものに対する講習（なぜなぜ分析等実施）
- * ヒヤリハットデータの収集
- * 事故原因の把握（道・車・人）

- (2) コンプライアンス重視の徹底

自動車運送事業における法令違反は、事故につながるものであり、最悪は人命にも支障を及ぼす行為だと言える、特に高い意識が求められる。

- (3) 飲酒運転の根絶

- * 点呼時のアルコールチェッカーでのチェックと、それに対する処分の強化と教育
- * 月に 1 回以上は、飲酒による体の変化・症状などを周知し飲酒運転の危険性・健康管理の重要性の教育を行う（安全対策会議）

C h e c k 事故・ヒヤリハット件数の目標達成確認

A c t 事故分析を含めた見直し

*安全管理体制の見直し・改善

*事故の原因の究明

事故後指導の徹底

- 1、 事故原因の把握
道・・天候・時間・道路形状（交差点・直線・カーブ等）
車・・タイヤ・ブレーキ・ワイパー等の車両状況や死角の存在
人・・当日・前日の健康状況や心身状況・休憩時間・健康診断結果
年齢・経験等
- 2、 運転手教育内容の把握
教育受講状態・適正診断内容等を再分析し、個々の教育内容を決める。
- 3、 他の運転手に対する教育 点呼や日頃の会話等で、安全を意識させる、
また事故の重大性を見極め映像点呼や集 合点呼等を柔軟に行う。

事故発生時の対応

- ① 事故時は運転手が焦っているため、落ち着いて対応すること。
- ② 別紙「事故発生時の対応」を基に冷静に対応を行う。
- ③ 「事故受付報告書」を用いて、正確な聞き取りを行う。

全社員にP D C Aサイクルを理解させ日々の業務において、「安全こそが最優先」
との共通認識で「交通事故撲滅」を達成するという強い意志を持ち教育指導する。